

大正五年四月六日第三種郵便物認可  
昭和二十一年四月三十日印刷納本（毎月一回一日發行）

# 哲 學 研 究

第 三 十 三 卷 第 二 册

第 三 百 四 十 七 號

昭 和 二 十 一 年 四 月 卅 日 發 行

## 西田幾多郎博士追悼號

御進講草案 歴史哲學ニツイテ：文學博士 西田幾多郎

私の論理について（絶筆）……文學博士 西田幾多郎

日 記 抄

西田君の憶ひ出……文學博士 狩野直喜

「善の研究」の生れるまで……文學士 島谷俊三

場所とコーラ……文學博士 山内得立

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內 部

京 都 哲 學 會

## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回研究會ヲ開ク
  - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
  - 一 毎月一回哲學研究ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都帝國大學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一 書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年三十圓、前後二期ニ分チテ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

委員	文學博士
植田壽藏	文學博士
臼井二尙	文學博士
上野照夫	文學士
澤瀉久敬	文學士
澤俊郎	文學士
島芳夫	文學博士
岡原太郎	文學士
西谷啓治	文學博士
久松眞一	文學士
本田義英	文學博士
松村克己	文學士
矢野部遠郎	文學博士
山内得立	文學博士
井島勉	文學士

## 編輯後記

本二月號は西田幾多郎博士追悼の特別號とした。

「歴史哲學ニツイテ」は昭和十六年一月廿三日の宮中御講書  
始に於ける御進講の草稿である。

「日記抄」は博士の残された日記中、明治三十年、三十一年、  
三十二年の分を西谷委員が抄した、編者の説明は括弧に入れ  
た。句讀點も編者が適當に加へたものである。

狩野博士の「西田君の憶ひ出」は上野、澤瀉兩委員が博士の  
談話を筆記し、後に博士の御訂正を乞ふたものである。

西田哲學に關する論文としては、山内博士のほかに務臺理作  
博士からも頂く筈になつてゐたが、御病氣の爲、本號に載せ得  
なかつたことは残念である。

(澤瀉)

## 前 目 次

獨逸神祕主義と 獨逸哲學	文學博士 西谷啓治
藝術的世界の形成と 發生形態 — デイルタイに於ける感情構造と原始藝術 —	文學士 余田民夫
細胞の起源……	理學博士 桑田義備

# 會 告

- 一 本會へ入會希望者へ京都市田中西浦町弘文堂書房  
内京都哲學會宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ  
送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務  
へ弘文堂書房内京都哲學會係へ御通知被下度候
- 一 會費へ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」  
宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合へ帶封ニ「前金切」ノ印章捺捺致ス  
ベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌  
等へ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都帝國大學 京都哲學會  
文學部内

## 註 文 規 定

- 一 會員にあらざる購設者の御注文及び廣告に關する  
件は「弘文堂書房」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御注文はすべて代金郵便共前金にて御送  
下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券十圓  
御送付下され度候

昭和二十一年四月二十五日印刷納本  
昭和二十一年四月三十日發行

編輯人 京都哲學會

右代表者

澤 瀧 久 敬

發行兼 印刷人 八坂茂太郎

東京都神田區駿河區四ノ四

印刷所(西京二番)弘文堂印刷部

京都市田中西浦町四〇

配給元 日本出版配給株式會社

東京都神田區淡路町二ノ九

發行所 株式會社 弘文堂書房

東京都神田區駿河區四ノ四

定 價		冊 數	定 價	郵 稅
一冊	冊	金二圓半錢	金五錢	
六冊(前金)	冊	金十五圓	金三十錢	
十冊(前金)	冊	金三十圓	金六十錢	